

祭事暦

10月1日 午前8時30分  
 月次祭  
 10月17日 午前11時  
 神嘗奉祝祭  
 10月20日 午前8時30分  
 月次祭



発行所  
 寒川神社社務所

〒253-0195  
 神奈川県  
 高座郡寒川町宮山3916  
 電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷智賢  
 責任者  
 印刷所 樹さんこうどう



神嘗祭外宮奉幣

神宮司廳 提供



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
 第六十二回神宮式年遷宮

去る七月二十二日午前、アジア地域を帯状に横切る皆既日食を見るのが出来ましたが、この日の天候は残念ながら曇空。しかし硫黄島付近の海上からテレビ中継された映像を見て、自然が織り成す神秘的な美しさに感動しました。

このごく稀な天体ショーは、太陽と月と地球が一直線上に並んだ場合にのみ起こる現象ですが、これとは逆に、地球が太陽と月の間に入り地球の影が月にかかることが出来ます。

太古の昔より我々の祖先はこれらの現象に遭遇し、その自然の偉大さを実感したことは想像に難くありません。太陽と月の存在を神様そのものと見たとしても不思議ではないのです。

昼と夜、潮の満ち干き、日本神話では太陽は天照大御神、月は月読命。太陽は昼を司り、月は夜を司る。陽と陰、陽はプラス、陰はマイナス。東洋思想においては、宇宙の全ては五行（木・火・土・金・水）の五要素から成り立ち、その裏表陰陽と十干十二支が深く係わり絶妙なバランスが保たれてこそ、万物が存在し得るものと考えられております。

神道では森羅万象、生きとし生けるすべてのものは神の神霊が宿っていると伝えられています。

人は一人で生きていくのではなく、あらゆるものとの関わりの中で生かされていることを実感しつつ、感謝の気持ちを忘れずに生きたいものです。(西)





# 例祭を厳修す

雲一つない晴天の中、九月十九日・二十日の両日に亘り一年に一度の例祭が斎行されました。

十九日午後一時からは前日祭が、午後二時には社大日本弓馬会・武田流一門による勇壮華麗な流鏑馬神事が奉納されました。境内西側の馬場には、この流鏑馬を一目見ようと約千五百人の見物客が詰め掛けました。揃いの装束を身に纏った射手が的を射抜けた



びに大きな拍手と歓声が沸き起こっておりました。

翌二十日午前十時には例祭が厳粛に斎行され、本社本庁よりの幣帛を奉り、責任役員・氏子総代を始め全国各地から多数の崇敬者が参列の下、寒川大明神の御神恩に感謝の誠が捧げられ志無く終了致しました。

尚、夕刻には両日とも、境内特設舞台にて宮山氏子総代による奉納演芸大会が賑やかに行われ、大勢の方々が一瞬童心に還ったかのように夜遅くまで楽しんでおりました。また、太鼓橋の前には二十年振りに新設された献灯枠に皆様方よりご協賛頂いた一六〇灯余りの提灯が掲げられ、境内では、献茶・献花・献句・盆栽展・水石と美石展・武道大会・万灯パレード等、沢山の神賑行事が奉納され、神社全体が終始華やいだ雰囲気になりました。



## 今月の祭事

十月十七日(土)

### 神嘗奉祝祭

日本国民の大御親神と崇めまつる伊勢の神宮では、今年収穫された初穂を大御神に奉り皇室の弥栄、五穀豊穡、国家隆昌並びに国民の平安を祈念する神嘗祭が今月十七日に執り行われます。当神社におきまして、



この伊勢の神宮で行われる神嘗祭にあわせ、神嘗奉祝祭を斎行いたします。

## 全総代会開催

九月一日参集殿に於いて、当神社と兼務神社の総代で構成される「全総代会」が開催されました。

会議に先立ち利根宮司代務者が挨拶を行い議事に入りました。始めに社務全般の報告がなされ、次に平成二十年度の一般会計並びに特別会計の決算報告や例祭斎行の件が議題として取り上げられ、出席された総代の皆様方によって熱心に審議され承認を頂きました。





連載

# 遷宮講座



國學院大學  
神道文化学部教授  
神道学博士  
なかにし まさゆき  
中西正幸

## 第六回 御用材の伐採と搬出

数多ある造管用材のうち、まず重要木といふべき心御柱・御樋代・御船代の御料木を伐りまつる。心御柱は祭儀の中心となるべき神離にあり、域内において伐採。また御樋代は神体をおさめるもの、その御樋代を納めるのが御船代という容器で、ともに木曾山で伐採される。

遷宮の諸祭初めにあたる平成十七年五月、最初に「山口祭」が執り行われた。その儀は式年造管庁総裁(大宮司)・神宮少宮司以下が正宮奉拝のあと、五丈殿において瑞々しい檜葉机をかこむ。造神宮使の伝統さながら、御造管に着手するにあたり、官符(補任状)を披露して、正式に挨拶を交わすものである。

そのあと忌鍛冶・宮大工が五色幣や鶏籠を捧げて祭場にむかい、幼い物忌が草木を刈り初める。そして同日深夜、域内において「木本祭」を取り行い、神秘的な心御柱の料木を伐りまつ

り、内宮は御稲御倉、外宮では外幣殿に安置して神殿竣工を待つという。

同年六月、木曾の御山山で伐採作業のはじめに「御山始祭」をおこない、神体を納める御樋代の料木を伐った。長野県上松町の表木曾国有林に、池田祭主以下の関係者が多数参列して、「三ツ尾伐り」の古式も鮮やかに、深山を揺るがせて伐採。また裏木曾の岐阜県付知町でも、御用材伐採式が滞りなく執行された。

長野・岐阜両県から御樋代の料木は、はるばる伊勢まで陸送、沿道各地の人びとから盛大な奉送迎を受けた。宇治橋前に到着した内宮の神木は、川曳きと称される。御用材を木櫃にのせて五十鈴川を勇壮に遡り、五丈殿前にめでたく



御山山 (表木曾国有林)



陸曳き (外宮)

安置された。外宮では度会橋で下された神木が巨大な木曳車に積み込んで陸曳きされた。月内に、御樋代を納める船形容器を採る「御船代祭」が、両宮域内において行なわれ、「御船代木本祭」とも別名する。この遷祭に合わせ、木曾山で用材伐採が進められた。さらに一般木の御木曳が、十八年・十九年の五月から七月にかけて、二十万を超える地元民や一日神領民により賑々しく行事を繰りひろげられ、とりわけ皇太子・秋篠宮両殿下も曳綱を手にしたこと、まことに感激の極みであった。

# 神嶽山神苑

歳時記



八氣の泉

神苑は八月より一般開放し、祈禱参拝された方々に入苑して頂いております。夏の暑い時季にも拘わらずこの二ヶ月間の入苑者は五千名を越えました。皆様には、寒川神社の起源に深く関わりのある「難波の小池」を拝することで大明神の御神慮を畏み、苑内を散策されて和やかなひと時をお過ごし頂いているようです。「何か心が洗われたようだよ」と声を掛けて下さる方もいらっしやいました。

さて、暑い夏もようやく過ぎ、涼しい風が神苑にそよぐ秋を迎え、草木もホッと一息ついているかのように、暑い夏もようやく過ぎ、涼しい風が神苑にそよぐ秋を迎え、草木もホッと一息ついているかのように、



紫式部

に佇んでおります。ちょうどこの頃になると神苑ではドングリが落ち始め、花も終りに近づくと様々な木の実が色づきます。中でもウメモドキは赤色に、ムラサキシキブは紫色の小さな実を枝いっぱいにつけ独特の艶やかさを放ちます。自ずから「源氏物語」の世界へと誘われます。秋はさり気なく庭を彩る草木に目を向けたいものです。

寒川神社との出合いは、昭和三十八年に寒川郵便局へ勤務した時から始まりました。この頃、すでに寒川神社では毎年の夏越の大祓と、十二月の師走の大祓行事が盛んに行われ、国内は元よりアメリカをはじめ諸外国に、約二十数万通の大祓人形が郵送されておりました。寒川神社を信仰される方の多いこと大変驚いたことを今でも覚えております。



今月の人物

## 寒川神社 大祓い人形との出合い

寒川神社宮山総代長 杉崎 孝行

当時の瀧本宮司様や神職の皆様は信仰者の開拓に苦労されたことと思います。郵便局では、上局より毎年度末になると新年の予算(郵便業務収入)の提示があり、(販売・切手・小包の販売が主な収入源で目標を達成するのは、容易なことではありません)たが、寒川神社様は、一番の大口顧客で目標額の半数近くのご利用をいただき大いに助かりました。寒川神社様の御蔭と局員の営業努力で目標額を毎年達成することができました。その代わり一度に沢山の郵便物を処理しなければならず大変苦勞もしました。人形の初穂料を頂いた方へのお返しは七月に約八万通、年明けの元旦には約八万数千通の御札や小包が当局から発送されました。

更に、上局に上申したところ、寒川神社、横浜郵便集申局間の直行便が認可されました。これ以後、寒川神社の倉庫に郵便車を配車し御札在中のダンボールや小包郵便物を直接運ぶ事が出来るようになりました。これにより、従来に比べ郵便局への搬入作業と引受け処理、輸送面を大幅に改善することができました。この時は、瀧本宮司様のご決断に対し心底より大変有難く思いました。私の予てからの念願が漸く叶いとても嬉しく思ったことが今でも昨日のように甦ってきます。



兼務社だより

### 倉見神社へ幟旗奉納



今般、倉見神社では氏子有志の皆様方が、天皇陛下御即位二十年並びに天皇皇后両陛下御成婚五十年を奉祝して、正面の鳥居横に高さ8メートルのアルミ製ポールと社号幟旗を奉納されました。  
この幟旗が、お祭り気分を益々盛り上げ御神徳の発揚に繋がる事でしょう。

### 寒川神社商工奉賛会

### 第三十六回年次総会開催

寒川神社を崇敬する商工業者の方々によって組織され、種々の奉賛事業を行っている寒川神社商工奉賛会では九月十九日商工祈願祭・献灯奉告祭にて、生業の繁栄が祈念された後、参集殿に於いて年次総会が開催されました。  
総会では前年度事業及び決算報告に続き本年度事業計画・予算案が審議可決されました。  
終了後は、春風亭柳の助



師匠による記念高座が開かれ、大勢の方が落語の面白さを心ゆくまで楽しんでおられました。

第六十三回

### 例祭奉灯 大句会開催

寒川俳壇では毎年恒例の例祭奉灯大句会が九月六日に参集殿で行われ、最優秀句へ当神社より一之宮賞が授与されました。

本句会は、全国でも有数の句会として知られており、規模や技術の高さには定評があります。

当神社の例祭期間中は、この大句会で詠まれた奉灯句が境内に掲げられました。

一之宮賞  
夏瘦の夫の大きな喉仏  
裕 百合子



御本殿御造営竣功十周年記念事業

### 御本殿周辺整備事業奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十一年八月奉賛者】（順不同・敬称略）

- 十万円 樽本 英一 東京都中央区
- 二万円 矢野史乃武 相模原市東林間
- 有村 幸三 茅ヶ崎市東海岸北
- 鈴木 紀夫 兵庫県西宮市
- 佐藤 文江 茨城県神栖市
- (株)竹澤古典建築設計 東京都板橋区
- 稲村 重雄 東京都町田市
- 服部 保次 東京都町田市
- 新藤 政二 厚木市寿町
- 鎌田 きよ 千葉県木更津市
- 前田 妙真 東京都江東区

### 第四十二回写真展作品募集のご案内

開催期間 平成二十一年十一月十日～十一月二十三日  
題 材 寒川神社に係のある未発表の作品  
サイズ 白黒・カラー：四ツ切または六ツ切  
出品点数 一人五点以内  
応募期間 平成二十一年十月一日～十月三十一日  
作品の裏に住所・氏名・電話番号・撮影年月日・画題を明記 編集・合成・組写真等不可。  
入賞発表 平成二十一年十一月上旬（入賞者へ直接通知）  
応募及問合せ 教化宣布課 ☎0467(七五)0004



# 方徳資料館

この度、神嶽山神苑開苑に伴い、寒川神社の八方除の信仰を理解いただく「方徳資料館」が完成、公開いたしました。

テーマは「日本文化と方位除信仰の歴史」。いまある八方除の信仰は、日本人のこころに植えつけられた先人の知恵です。

ユニークで小さな資料館です。古代天文暦法、陰陽五行の伝播から、キトラ古墳、渾天儀。四神相応の地平安京、陰陽師の活躍。時代とともに方位除の信仰は変遷して行きます。

また、日本の方位除の歴史に、どのように寒川神社の歴史が重なっているか展示されています。過去から現代へ。精巧なジオラマ・模型。もっと詳しく理解したい事項の補助資料として、キーワード「解説シート」が役立ちます。方位除、八方除の歴史は方徳資料館で。



## ◆青少年活動だより



# BS 寒川第二団

——ペンチャー隊の夏——

八月二十三日～二十五日  
夏季キャンプを実施。

一日目は先ず富士山本宮浅間大社を参拝。本栖湖にてカヌーを体験し湖畔で一泊する。二日目は五合目より富士登山に挑戦。途中霰と雨に打たれながらも約八時間かけて無事登頂。久須

志神社を参拝し宿泊する。

三日目早朝、山頂より御来光を仰ぎ寒川第二団の隊旗を掲げる。今回のテーマでもある明治天皇御製「大空に聳えて見ゆる高嶺にも登ればのぼる道はありけり」の意を実感し、自身を見つめ直すキャンプとなった。



# 寒川神社少年館

——少年館お泊り会——



八月十七日から一泊二日の日程で、四十四名の館生が参加して恒例のお泊り会を少年館で行いました。

第一日目は、平塚の下水道公社四之宮管理センターに行き、家庭や工場から出る排水が浄化され川に戻るまでの過程を見学。また顕微鏡での微生物探しにも挑戦しました。

その後、温泉施設で汗を

流し帰館。夕食にカレーライスを食べ、國學院大学・皇學館大学の実習生のお兄さん達とゲームや花火で楽しい夜を過ごし就寝しました。翌日は、午前六時に眠い眼をこすりながら起床。ラジオ体操の後に、少年館隣りの曹洞宗龍寶山興全寺の本堂で初めての座禅を体験。菊地英昭住職より食事の作法等を教わり、朝粥を美味しく頂きました。低学年の館生にとっては初めての体験ばかり、思い一杯のお泊り会でした。

417

健康手帳

### 運動器疾患と健康寿命

宗教法人

寒川神社 寒川病院

整形外科医師 内田雅夫

現在日本では高齢化社会が急速に進んでいる。一九二〇年の第一回国勢調査では100歳以上は113人であったが、二〇〇九年には4万人を超えたといわれている。平均寿命でも一九二〇年代には男性42.1歳、女性43.2歳であったが、今や男性でも80歳を超え、女性では90歳に達しようとしている。

その結果、介護・看病を必要とする高齢者が激増し、老後の介護を社会全体で支える仕組みとして、二〇〇〇年に介護保険制度が導入されたが人的・経費面での多大な負担となり、対応策の一つとして予防医学的な方法に力を入れるようになった。

二〇〇七年国家的取組みとして健康日本21（21世紀における国民健康づくり運動）としていくつかの方針が出された。要介護・要支援となった原因疾患を調べると、脳血管障害27.7%、関節疾患・骨折・転倒が22.2%、高齢による衰弱が三大原因であった。これにより、整形外科・リハビリでは関節等運動器障害を不安定症として早期に診断し要介護者を減らすうとしている。

従来は医療がややもすると痛みに対しての投薬、注射等、或いは骨折に対しての手術と治療が主となり、予防的な対応がなざりにされる傾向にあった。高齢化によりバランス能力あるいは移動歩行能力が低下し閉じこもり、転倒リスクの高まった状態を運動器不安定症（ロコモティブシンドローム）と定義し、これら

の状態に对应して筋力トレーニングや体操で心身の活性化をはかり健康寿命（健康で障害のない状態での生存期間）の延長をと努めている。



要介護、要支援予備軍として骨粗鬆症患者一〇〇〇万人、変形性膝関節症患者一〇〇〇万人いるといわれており、大腿骨頸部骨折患者が年間約15万人といわれている。少しでも快適な老後を送っていただくために、医療関係者も考え方をかえなければならぬのは当然であるが、最も必要なことは当事者（予備軍）も予防対策の重要性を十分理解していただかなければならない。

そのための指導者・場所・時間を地域として考えなければならぬ。不明な点は病院・診療所・リハビリ施設で確かめて下さい。

### 医療講演会のご案内

とき 10月27日(火) 午後2時～3時  
ところ 寒川神社参集殿  
※入場無料(申込み不要)  
内容 「胃がんについて」  
講師 外科医長 木勢佳史  
お問合せ 電話 0467(75)6680(寒川病院)

### 少年館講師紹介



高橋春吉氏

この度、少年館の俳句講師を阿部武先生に代わって当神社参与高橋春吉氏にお引き受けいただき九月より講座が再開となりました。

子供達の情操力を豊かに醸成していただけるものと期待しております。

### 人 事

#### ◆退職

△寒川神社▽

権禰宜

権禰宜

願いに依り本職を免ずる

平成二十一年九月三十日

神 社 本 庁

#### ◆新採用

△寒川病院▽

診療放射線技師 五十嵐明子

寒川病院勤務を命ずる

平成二十一年十月一日

### お詫びと訂正

社報「相模」九月号へ掲載の（寒川病院だより）に誤りがありましたので訂正いたします。

### 診 療 日

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後						

... 武村医師外来日

... 糖尿病外来

\*土曜日は奇数週（1・3・5週）

\*お電話でご確認の上、ご来院下さい。



みづ川俳壇

村中に日のさんさんと威鏡  
 少年の九九詣する良夜かな  
 七輪の埃払つて秋刀魚焼く  
 秋風に吹かれし首のなき地蔵  
 鈴虫の音や内陣の太柱  
 秋桜道で着替えるガードマン  
 高原の白きペンション秋ざくら  
 夜業の灯人の数だけ灯りけり  
 朝涼や竹の素肌のひかりいて  
 堀の水何かいそうな里の秋  
 孫が来て孫が主役の敬老日  
 高原の風が育む秋桜  
 案山子かと見るやとぼとぼ歩き出す  
 蟋蟀の飛びだす靴を履きにけり  
 稲穂田のドミノ倒しの如くあり  
 屋根打つて何がが落ちぬ秋の夜  
 新涼の庭師が運ぶ石の貌  
 見てくれの悪しき秋茄子味噌炒



市本 益子  
 相原 白露  
 菅沼うめの  
 根岸 君子  
 浅田のぶ子  
 高橋はるよし  
 飛石 槿花  
 岡田風呂釜  
 四ツ車梢月  
 宮入 つる  
 倉谷 節子  
 伊藤 公一  
 芹沢 徳光  
 露木てる子  
 菅沼 保幸  
 岩田美代子  
 金指 月光  
 天沼 子平

十月 手水舎奉掲

明治天皇御製

わが庭の初穂ささげて来む年の  
 みのりいのりつつ五十鈴の宮に

相模詠草

庭隅の花びらもため半夏生寂しきさまに夕暮れてゆく  
 友達の今日の集まりは吾のおこり中華料理を食べに出かける  
 不条理を忘れて笑えとわが総理マンガの殿堂建ててくれるか  
 黒き影よぎると見しに枇杷の実を銜えて鴉の飛び立ちゆけり  
 澄みわたる川の流れにゆらゆらと梅花藻の花白く踊れり  
 梅雨の夜に美しき月輝やきて心洗わる「明日、晴れるかな」  
 五月の海さらりと足裏くすぐれる波おだやかに潮風におう  
 人生の重みを短歌に込めらるる八十八歳宇田川さんの短歌  
 見上げれば百尺観音万緑に染まり五月雨流る  
 江ノ電に古風な和服の二人づれお茶席帰りか鎌倉の秋  
 万物の命尊し吾がいたずらに抵抗はげしき亀にたじろぐ  
 相模川孫は聞き分ける野鳥の声珍しき鳥の婆には聞こえず  
 ふり返り目線の移りかざられし雪見障子が花色を引き  
 夏の夜どこから聞こゆ笛太鼓祭り囃子に亡き夫しのぶ  
 身勝手な一人よがりの北の國わが娘を叱るときに思いき  
 ひと片の菓子をめがけて集いくる蟻の行列どこまでつづく  
 葉の半分化粧したよに白くあり小花は垂れて半夏生臭う  
 産土神の杜に立つ吾にしんしんと遠つ御祖の声のひびけり



岡元 芳子  
 出町 安子  
 斎藤くにお  
 宇田川時子  
 浜田 寿子  
 山口 幸子  
 山根喜美代  
 安藤 慧  
 鈴木 助晴  
 川島恵美子  
 吉田マツ子  
 工藤 光子  
 稲畠 治江  
 三留とく子  
 平野 良三  
 天利 春枝  
 亀山 文子  
 杉本 照世

表紙写真説明

陛下より御稻穂。全国よ

り懸税が奉納されます。

編年録

霊峰富士山も、秋の澄みきつ

た空気できつつきり。そよぐ風

が何とも心地よい。

稔りの秋。祭りの秋。味覚

の秋。行楽の秋。運動の秋。

とにかく秋は楽しさが満載。